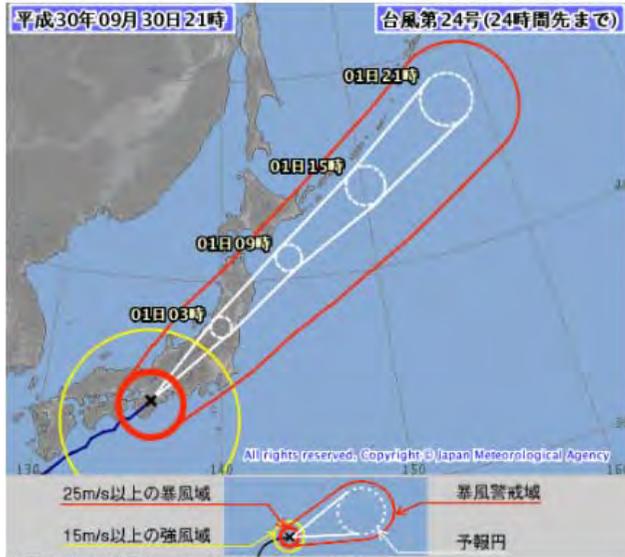


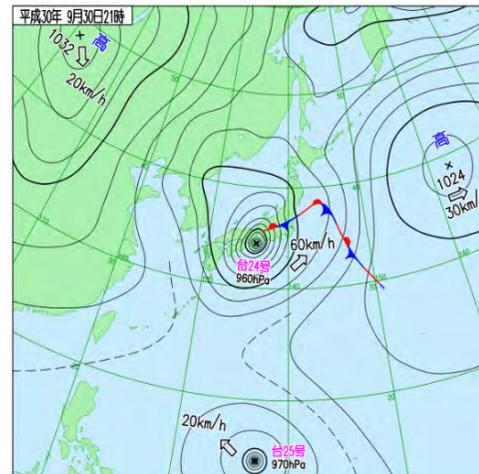
# 新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

台風24号の影響により、台風を取り巻く発達した雨雲が西日本から東日本の広範囲に、非常に激しい降雨をもたらし、各地で記録的な豪雨となりました。

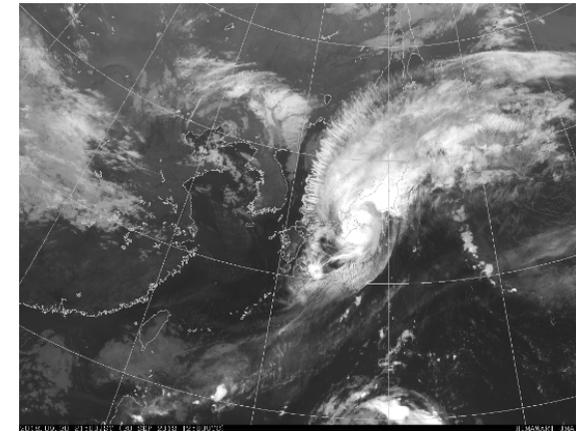


出典: 気象庁ウェブサイト



天気図(9月30日21時00分)

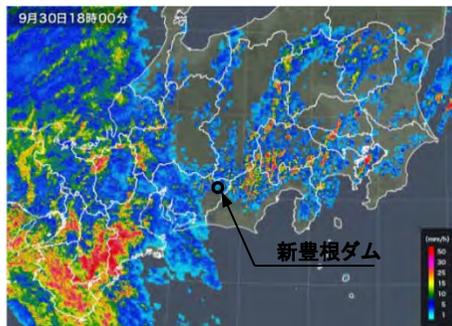
出典: 気象庁ウェブサイト



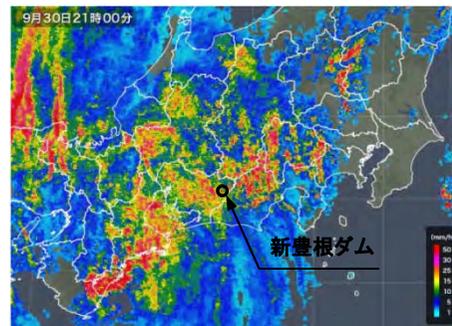
気象衛星(9月30日21時00分)

出典: 気象庁ウェブサイト

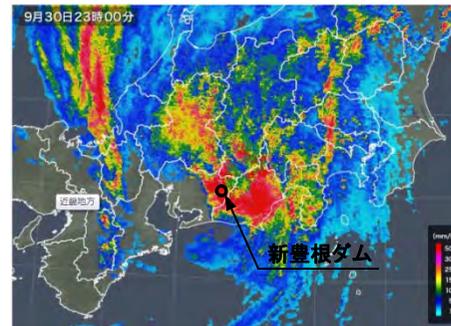
## レーダー雨量



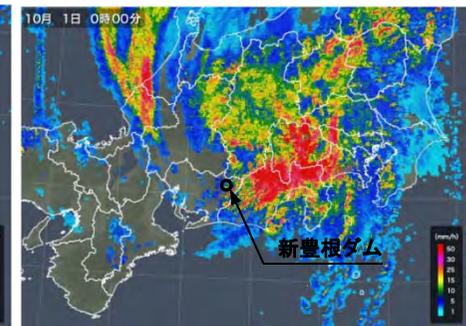
9月30日18時00分



9月30日21時00分



9月30日23時00分



10月1日0時00分

出典: 日本気象協会ウェブサイト

# 新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

## 1. 概要

9月29日からの台風24号による豪雨により、新豊根ダム流域の累加雨量は、193.1mm(29日4時～1日6時)、時間最大雨量は流域平均35.1mm(30日22時～23時)でした。

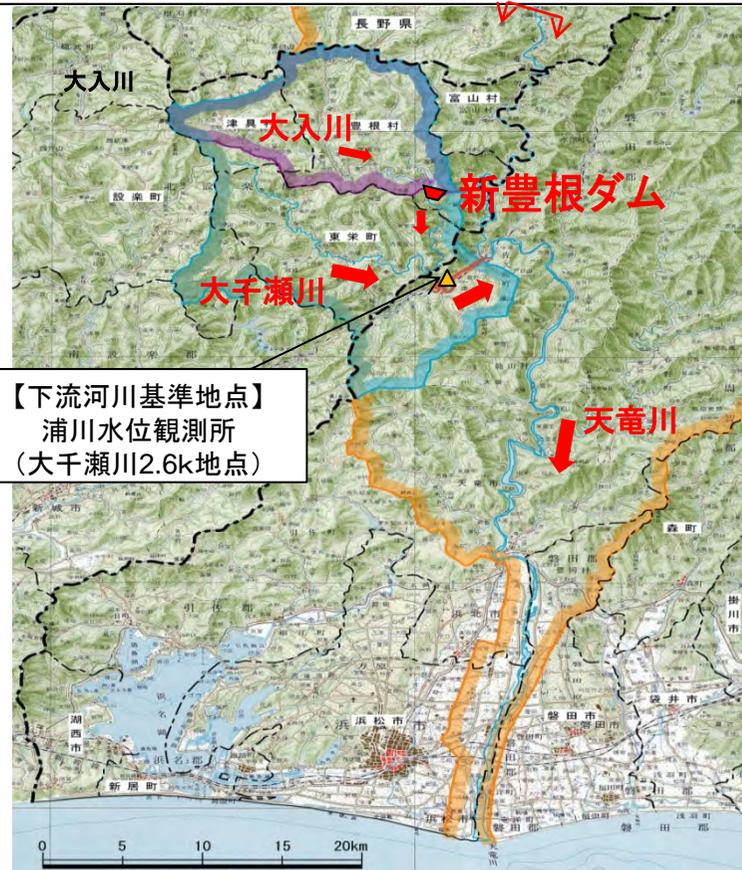
この出水に対して、新豊根ダム(天竜川水系大入川)が防災操作(全量貯留)を行い、下流地域に対して、以下のような効果がありましたので、お知らせします。

(1) 最大流入量が約720m<sup>3</sup>/s(1日00時20分 ※10分毎のデータ)あり、この時点において約720m<sup>3</sup>/sをダムに貯留しました。

(2) 防災操作により、ダム下流の浦川地点(水位観測所)の水位は、5.2m(1日0時40分)となりました。もしダムがなかった場合、浦川地点において、最大で水位が約1.2m上昇していたものと想定されます。

今回の洪水規模より大きかった昭和58年9月洪水と同規模相当の洪水が発生した場合においても洪水を安全に流下させるため、佐久間ダムに洪水調節機能を新たに確保する天竜川ダム再編事業や河川改修事業の推進に努めて参ります。

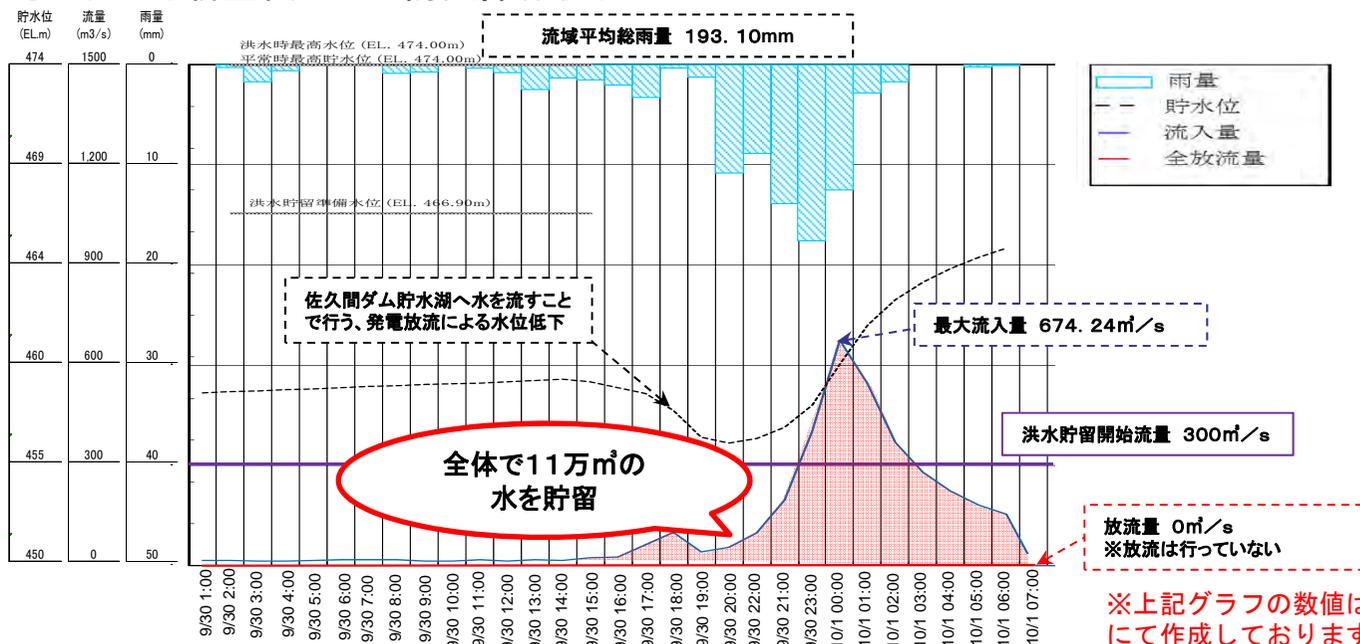
## 2. ダム・水位観測所位置図



# 新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

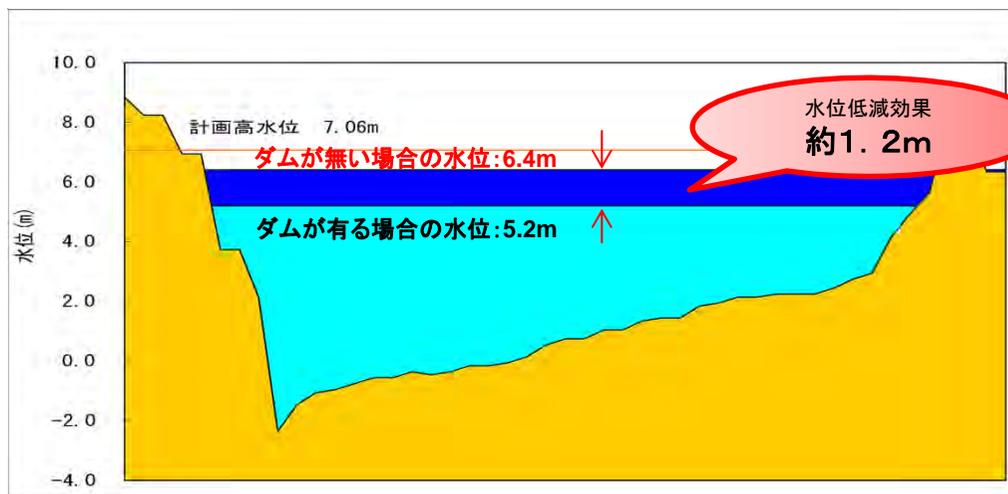
## 3. 台風24号における新豊根ダムの防災操作状況

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。



## 4. 浦川水位観測所における新豊根ダムの防災操作における水位の低減効果

ダムの防災操作により、ダム下流河川（浦川水位観測所地点）の水位を約1.2m低減することができました。



ダムがない場合の水位

約6.4m

ダムがある場合の水位

約5.2m

約1.2mの  
水位低減！！